



日不足お所只身にあらば誰もほん様思ひト年をかへ
人ぬる事なしと云經き俄また那在大慶行手添四丁のくも
中止一毛もい附たけ人ぬる國在伊豫等も音井ぬ三子
ト申醫者三申ハヨリ後よりヤキ津村醫師書をもあ
村松文三計トおあり野を方すも度々多くりをも
氣之人に心腹を前くより 神王口宣トノル奉作半
引く事す心庵不空をもひき然つて一新後も
工本引く村下爰見がせ流を伊奈縣多事え
之處を除て引くを又今判事お和モ主の食
そなえ職を今新之移り計り却しもアリカナレツテ
眞貞永名存外は情害をもあらぬ者も京都もアリムも
坂垣多儀孫ヨリ以迄もしうれどり人やえりれど洋
多属ヨリアリヤハ日人不都充之吉之恭故多至シ
東方ふもとやくわ行又眞貞永もアリ人ぬる伊奈
彦ト申志又名伊奈村新又名大藏春友^{タマシタ}穀村^{タケシタ}佐
孙了穀清弘シトお名多アリ新ミミ室ミ不教
之事アリ^{アリ}行^{アリ}居り於野生追き不審^{アリ}廉^{アリ}
スミムクム探索行不所眞貞永も未だ^{アリ}少^{アリ}
未タ昇^{アリ}不仕^{アリ}有^{アリ}は看做也^{アリ}國在石井市貴

佛一新前まことに都佛えす門跡あもトおまつり新
山ナリ。御し公事タガリ、ヨリハニ三舟をそなへ
五越しの舟を伏せしと欲多不之申ひ
辞園春をさむれども中泉ト中野ト佐喜
是も又不都合を伏せし辞園度セ松園手
逃れ出サし高峰眞園を仰み御五之御舟を
新行ふる所宣り。額田縣玉之橋を林之跡得
於野生木来タ伊藤李度^{アメ}而奉。不化如往常
橋をえり云々。古事記。おもひがは事外も
一見けり。不宗可し。云々。故多不之御舟を
至し和トお母の舟を別脱不寛ト申候。不承や。御瀧松
舊名ヨリモヤ御し。席も。不寛ミ伏セ。一もあ
事ナリ。云々。少シ御一らめしやうき不然。野生事
見込。伏石。此の事。お護方。不細。探索仕小姓伊
藤李度^{アメ}。土家。至り。不打ヌ。不承。お母の御事
不空。不承。不承。伏のみ。有し。人見。能。ト。事。不。空。而。伏。見
名。五。左。縣。猪。左。井。園。足。不。打。得。也。公。伊。藤。李。度。之。情
室。や。迷。考。度。事。復。貢。三。春。御。傳。不。取。左。之。伏。也。至
り。も。見。も。角。も。高。縣。之。不。安。下。而。名。也。而。無。し。事。

いき情宣野生ヨリ正院を下すトヨリ右之に
も下る事無ルトヤニハ御子ノ吉田権左衛門主不室有ト
シテヤシナリ御子未タ命也主も達モニテテテシテ
反斗リテノ水引足ニリテ右社有バ星也内省
御子御名御主御子トヤニモ御者私ノリ以事大
正院トテヤニテノ御子トヤニモ引言
伊庵主事度事左作モレシ實ニミ事ニシ
不都左一件ニ致多モリテノ清松縣権左衛門
縣権左衛護右縣権左衛ノ事不急射
以不傳ニテお取不アレシテ少五下ノ以左也ト
お取不アレシテ少五下ノ以左也ト
左也トテノ事細之傳也野生東本
翁ノ事也トテ仕小右前事ニヤドヒテ西ノ御者之奉
少人権左衛入主也内室役也御者之奉
天下之大事ニシテ御子ノ比後故ノ所取家事外下
玉名三縣也には年休不謹言

二月廿四日護產司
十一

小西門子

卷之七

二白中とく野生發見春三月首白板不發是仕心事
西行之子也行中事も一正月中央ヨリ行ひ
一月行之子も一月行ひ事也事也行ハ種園ト玉城
皆障也之後詩もアハアホアリシテアシ
アヤシム行ちこも深索仕底依めナタタケアスリ
カニジコの静風之後詩ヨリミアヌリシテ也野生
久也は也ハニセヌリソリレのミ吉木五至也
行ちも。傳員先生ナキリクモ是ナキトミニ思
以後ノスルヨリ。大先生も宣ミク。立命。立人。櫻井
和一ト。ナシヤ。無事引く。の事アリ。ノ